

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行うことを基本とします。	
主要運用対象	メロン世界新興国ソブリン・ファンド(年1回決算型)(ベビーファンド)	「世界新興国ソブリン・マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	世界新興国ソブリン・マザーファンド(マザーファンド)	新興国が発行した現地通貨建ての国債等を主要投資対象とします。
組入制限	ベビーファンドの組入上限比率	マザーファンドの受益証券への投資割合には、制限を設けません。 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	マザーファンドの組入上限比率	株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年1回の決算時に、原則として基準価額水準等を勘案して委託者が決定します。ただし、長期的な信託財産の成長に資するため収益分配金を少額に抑えること、または分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。	



BNY MELLON
INVESTMENT MANAGEMENT

メロン世界新興国 ソブリン・ファンド(年1回決算型) (愛称：育ち盛り(年1決算))

追加型投信／海外／債券

運用報告書(全体版)

第16期(決算日：2023年5月17日)

受益者のみなさまへ

平素は、格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「メロン世界新興国ソブリン・ファンド(年1回決算型)(愛称：育ち盛り(年1決算))」は、2023年5月17日に第16期決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

東京都千代田区丸の内1丁目8番3号

丸の内トラストタワー本館

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

運用商品開発部

電話番号：03-6756-4600(代表)

受付時間：営業日の9:00~17:00

ホームページ <https://www.bnymellonam.jp/>

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			(ベンチマーク) JPモルガンGBI-EM Diversified 指数(円ベース)	債券 組入比率	債先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 分配	み 金 騰 落 率				
	円	円	%		%	%	百万円
12期(2019年5月17日)	10,257	0	△7.4	250.50	△3.4	97.8	191
13期(2020年5月18日)	9,244	0	△9.9	237.89	△5.0	98.4	146
14期(2021年5月17日)	10,593	0	14.6	274.01	15.2	98.2	154
15期(2022年5月17日)	9,081	0	△14.3	240.64	△12.2	94.7	121
16期(2023年5月17日)	11,094	0	22.2	285.84	18.8	93.9	138

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

(注) ベンチマークは、基準価額算出基準を考慮し、基準日前日の指数を用いております。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(ベンチマーク) JPモルガンGBI-EM Diversified 指数(円ベース)	債券 組入比率	債先物 比率
	騰 落 率	騰 落 率			
	円	%		%	%
(期首) 2022年5月17日	9,081	—	240.64	—	94.7
5月末	9,376	3.2	249.10	3.5	95.5
6月末	9,501	4.6	253.66	5.4	96.3
7月末	9,241	1.8	247.69	2.9	90.4
8月末	9,497	4.6	257.38	7.0	94.6
9月末	9,357	3.0	252.81	5.1	96.4
10月末	10,287	13.3	261.15	8.5	91.2
11月末	10,392	14.4	264.03	9.7	96.0
12月末	10,090	11.1	259.87	8.0	95.7
2023年1月末	10,359	14.1	264.95	10.1	92.3
2月末	10,470	15.3	270.22	12.3	91.6
3月末	10,650	17.3	272.37	13.2	93.0
4月末	10,880	19.8	277.83	15.5	93.3
(期末) 2023年5月17日	11,094	22.2	285.84	18.8	93.9

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

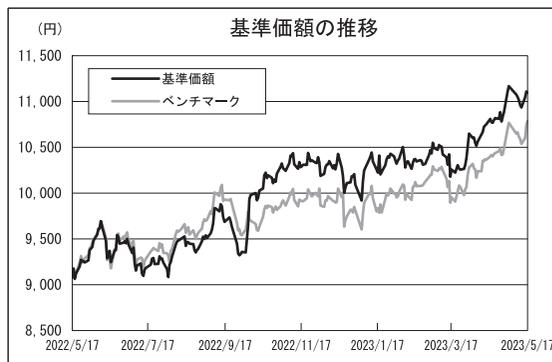
(注) ベンチマークは、基準価額算出基準を考慮し、基準日前日の指数を用いております。

◆基準価額の推移

当期の基準価額の期中騰落率は22.2%（分配金再投資ベース）、ベンチマークであるJPモルガンGBI-EM Diversified指数（円ベース）の期中騰落率は18.8%となりました。

ベンチマーク比パフォーマンスにおいては、通貨別配分においてポーランドズロチをベンチマーク比高めの配分としていたことがプラス要因となった一方、南アフリカランドをベンチマーク比高めの配分としていたことがマイナス要因となりました。国別配分では、ベンチマークから除外されたロシアの保有に加え、ブラジルをベンチマーク比高めの配分としていたことがプラス要因となった一方、トルコをベンチマーク比低めの配分としていたことがマイナス要因となりました。

なおベンチマークから除外されたロシアについては当期一部売却しましたが、引き続き市場状況を勘案しながら売却機会を探って参ります。



(注) ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

◆基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・期を通じて、日本では強固な金融緩和姿勢が維持されるなか、新興国通貨が対円で上昇したこと
- ・2022年11月以降、米国のインフレピークアウトを背景に金融引き締め鈍化観測が広がったことで新興国債券市場への買いが優勢となったことや、中国の厳しい新型コロナウイルス関連対策が撤回され中国景気の回復期待が高まるなか新興国債券市場が上昇したこと

(下落要因)

- ・2022年9月、英国のトラス政権が大規模な減税策を示したことが嫌気され新興国債券市場が下落したこと
- ・2023年2月、米国長期金利の上昇が売り材料視されたほか、米中関係の悪化や原油相場下落を警戒する動きから新興国債券市場への売り圧力が強まったこと

◆投資環境

現地通貨建て新興国債券指数であるJPモルガンGBI-EM Diversified指数（円ベース）の当期における騰落率は、18.8%となりました。

期初来、中国での新型コロナウイルス感染状況の悪化や、欧米での景気悪化懸念などが下押し圧力となりましたが、8月中旬にかけては米国の利上げペース鈍化観測が強まったことで買いが優勢となり上昇しました。その後10月末にかけて英国でトラス政権が打ち出した大規模な減税策と国債増発計画などが債券市場の下押し材料となり下落しました。11月以降は、一時的な米国長期金利の上昇が売り材料視されたほか、米中関係の悪化や軟調な原油相場などは下押し圧力となりましたが、米国のインフレピークアウトを背景に金融引き締め鈍化観測が広がったことで新興国債券への買いが優勢となったことや、中国の厳しい新型コロナウイルス関連対策が撤回され中国景気の回復期待が高まるなか、上昇基調で推移しました。

◆当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは「世界新興国ソブリン・マザーファンド」受益証券への投資を行いました。

「世界新興国ソブリン・マザーファンド」は、主として新興国の政府・政府機関などの発行する現地通貨建て債券への投資を行いました。以下は当該マザーファンドの運用の状況です。

通貨配分

南アフリカランド、ポーランドズロチなどをベンチマーク比高めの配分とした一方、香港ドル、台湾ドルなどをベンチマーク比低めの配分としました。

国別配分

南アフリカ、ブラジルなどをベンチマーク比高めの配分とした一方、ポーランド、マレーシアなどをベンチマーク比低めの配分としました。

◆収益分配

期中の収益分配については、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。

分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用致します。

■分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期
	2022年5月18日～ 2023年5月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,254

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針

<当ファンド>

引き続きファンドの基本方針に則り、世界新興国ソブリン・マザーファンド受益証券を高位に組み入れた運用を行います。

<世界新興国ソブリン・マザーファンド>

新興国債券市場は、引き続き米国の金融政策、米ドル相場の推移、先進国と新興国間における経済成長の格差などの影響を受けるとみられます。リスク要因としては、グローバル経済の見通しを巡る不透明感の高まり、米国金融セクターの不安拡大などが挙げられます。一方、主なプラス要因としては、中国の経済再開に伴う成長期待や需要の回復が挙げられ、コモディティ輸出国やアジア諸国などを中心に恩恵を享受すると予想します。加えて、新興国の経済成長見通しが先進国対比で良好なこと、相対的に利回りが高いため資金流入が期待できることなども支援材料です。運用においては、引き続き、インフレ動向、世界的な金融引き締め動き、経済減速、地政学リスク、加えて新興国各国の財政状況などを注視しつつ、良好なファンダメンタルズを有し魅力的で投資価値のあるバランスのとれたポジション構築を目指してまいります。

■ 1 万口当たりの費用明細

(2022年5月18日～2023年5月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 182	% 1.815	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,008円です。
(投信会社)	(94)	(0.935)	信託財産の運用指図、法定開示書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(83)	(0.825)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(6)	(0.055)	信託財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	83	0.831	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(27)	(0.271)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(49)	(0.494)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷)	(5)	(0.055)	目論見書、運用報告書等の印刷・交付等に係る費用
(その他)	(1)	(0.010)	金融商品取引に要する諸費用
合 計	265	2.646	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

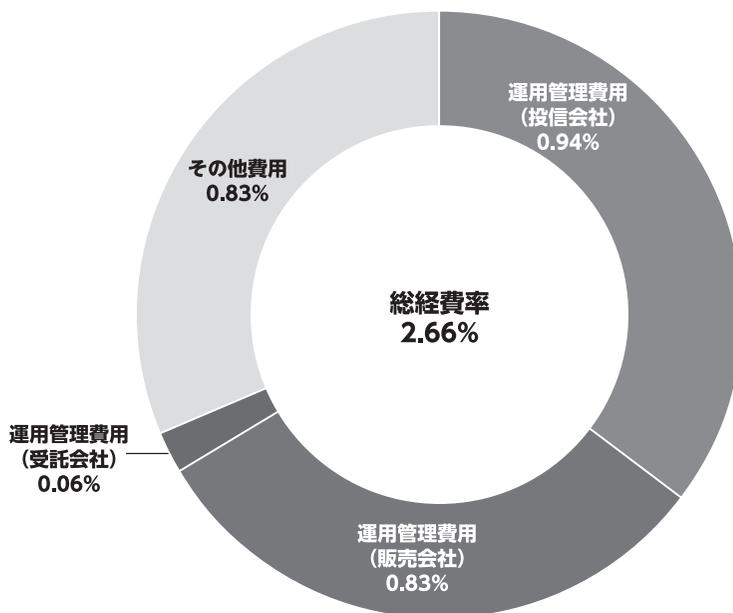
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.66%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■ 売買及び取引の状況

(2022年5月18日～2023年5月17日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界新興国ソブリン・マザーファンド	千口 872	千円 1,158	千口 9,821	千円 14,226

(注) 単位未満は切り捨て。

■ 利害関係人との取引状況等

(2022年5月18日～2023年5月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 組入資産の明細

(2023年5月17日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界新興国ソブリン・マザーファンド	千口 101,306	千口 92,357	千円 138,056

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2023年5月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
世界新興国ソブリン・マザーファンド	千円 138,056	% 93.6
コール・ローン等、その他	9,373	6.4
投資信託財産総額	147,429	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

(注) 世界新興国ソブリン・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(3,241,953千円)の投資信託財産総額(3,330,922千円)に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オフショア人民元=19.5115円、1ドル=136.49円、1アルゼンチンペソ=0.5904円、1メキシコペソ=7.8046円、1ブラジルリアル=27.6138円、100コロンビアペソ=3.0141円、1ペルーソール=36.9226円、1ウルグアイペソ=3.5032円、1ユーロ=148.35円、1トルコリラ=6.917円、1チェココルナ=6.2722円、100ハンガリーフォリント=40.2655円、1ポーランドズロチ=32.9688円、1ロシアルーブル=1.70円、1ルーマニアレイ=29.9788円、1マレーシアリングgit=30.222円、1タイバーツ=3.99円、100韓国ウォン=10.18円、1南アフリカランド=7.15円。

■特定資産の価格等の調査について

調査を行った者の氏名又は名称

PwCあらた有限責任監査法人

調査の結果及び方法の概要

調査依頼を行った取引は当ファンドの主要投資対象である世界新興国ソブリン・マザーファンドにおいて行った2022年5月18日から2023年5月17日までの間でノンデリバラブルフォワード（以下「NDF」という。）取引209件でした。

これらのNDF取引について、「投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）」第11条第2項に基づいて比較可能な価格のほか、相手方の名称、銘柄、約定数値、金融商品又は金融指標の種類、プット又はコールの別、権利行使価格、権利行使期間、取引期間その他の当該NDF取引の内容に関して、PwCあらた有限責任監査法人に調査を委託し、日本公認会計士協会が公表した専門業務実務指針4460「投資信託及び投資法人における特定資産の価格等の調査に係る合意された手続業務に関する実務指針」に基づく調査結果として合意された手続実施結果報告書を入手しています。

なお、本調査は財務諸表監査の一部ではなく、また価格の妥当性や内部管理体制について保証を提供するものではありません。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	147,429,667
世界新興国ソブリン・マザーファンド(評価額)	138,056,125
未収入金	9,373,542
(B) 負債	8,972,641
未払解約金	7,352,954
未払信託報酬	1,251,813
その他未払費用	367,874
(C) 純資産総額(A-B)	138,457,026
元本	124,802,218
次期繰越損益金	13,654,808
(D) 受益権口数	124,802,218口
1万円当たり基準価額(C/D)	11,094円

(注) 当ファンドの期首元本額は133,752,738円、期中追加設定元本額は675,108円、期中一部解約元本額は9,625,628円です。

(注) 1口当たり純資産額は1,1094円です。

■損益の状況 (2022年5月18日～2023年5月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	28,213,560
売買益	29,901,230
売買損	△ 1,687,670
(B) 信託報酬等	△ 3,158,466
(C) 当期損益金(A+B)	25,055,094
(D) 前期繰越損益金	△21,659,024
(E) 追加信託差損益金	10,258,738
(配当等相当額)	(67,417,896)
(売買損益相当額)	(△57,159,158)
(F) 計(C+D+E)	13,654,808
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	13,654,808
追加信託差損益金	10,258,738
(配当等相当額)	(67,421,106)
(売買損益相当額)	(△57,162,368)
分配準備積立金	60,558,065
繰越損益金	△57,161,995

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,304,709円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(67,421,106円)および分配準備積立金(53,253,356円)より分配対象収益は127,979,171円(10,000口当たり10,254円)ですが、当期に分配した金額はありません。

(注) 運用の指図にかかる権限を委託するために要する費用：信託財産に属する親投資信託の受益証券の時価総額に年0.3375%～0.375%の率を乗じて得た額

■分配金のお知らせ

当期の分配金はありません。

世界新興国ソブリン・マザーファンド

第16期（2023年5月17日決算）〔計算期間：2022年5月18日～2023年5月17日〕

法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	新興国が発行した現地通貨建ての国債等を主要投資対象とします。
組入制限	株式、新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(ベンチマーク) JPモルガンGBI-EM Diversified 指数 (円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
12期(2019年5月17日)	12,605	△ 5.3	250.50	△ 3.4	98.0	—	8,730
13期(2020年5月18日)	11,626	△ 7.8	237.89	△ 5.0	98.6	—	7,278
14期(2021年5月17日)	13,624	17.2	274.01	15.2	98.3	—	6,211
15期(2022年5月17日)	11,966	△12.2	240.64	△12.2	94.9	—	3,168
16期(2023年5月17日)	14,948	24.9	285.84	18.8	94.1	—	3,232

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) ベンチマークは、基準価額算出基準を考慮し、基準日前日の指数を用いております。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(ベ ン チ マ ー ク) JPモルガンGBI-EM Diversified 指 数 (円 ベ ー ス)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2022年5月17日	円	%		%	%	%
	11,966	—	240.64	—	94.9	—
5月末	12,366	3.3	249.10	3.5	95.4	—
6月末	12,555	4.9	253.66	5.4	96.0	—
7月末	12,235	2.2	247.69	2.9	89.9	—
8月末	12,599	5.3	257.38	7.0	94.0	—
9月末	12,440	4.0	252.81	5.1	95.6	—
10月末	13,692	14.4	261.15	8.5	90.3	—
11月末	13,858	15.8	264.03	9.7	95.9	—
12月末	13,483	12.7	259.87	8.0	95.4	—
2023年1月末	13,870	15.9	264.95	10.1	91.9	—
2月末	14,042	17.3	270.22	12.3	91.0	—
3月末	14,309	19.6	272.37	13.2	92.3	—
4月末	14,641	22.4	277.83	15.5	92.4	—
(期 末) 2023年5月17日	円	%		%	%	%
	14,948	24.9	285.84	18.8	94.1	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率。

(注) ベンチマークは、基準価額算出基準を考慮し、基準日前日の指数を用いております。

◆基準価額の推移

当期の基準価額の期中騰落率は24.9%、ベンチマークであるJPモルガンGBI-EM Diversified指数（円ベース）の期中の騰落率は18.8%となりました。

ベンチマーク比パフォーマンスにおいては、通貨別配分においてポーランドズロチをベンチマーク比高めの配分としていたことがプラス要因となった一方、南アフリカランドをベンチマーク比高めの配分としていたことがマイナス要因となりました。国別配分では、ベンチマークから除外されたロシアの保有に加え、ブラジルをベンチマーク比高めの配分としていたことがプラス要因となった一方、トルコをベンチマーク比低めの配分としていたことがマイナス要因となりました。なおベンチマークから除外されたロシアについては当期一部売却しましたが、引き続き市場状況を勘案しながら売却機会を探っております。



(注) ベンチマークは、期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

◆基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

- ・期を通じて、日本では強固な金融緩和姿勢が維持されるなか、新興国通貨が対円で上昇したこと
- ・2022年11月以降、米国のインフレピークアウトを背景に金融引き締め鈍化観測が広がったことで新興国債券市場への買いが優勢となったことや、中国の厳しい新型コロナウイルス関連対策が撤回され中国景気の回復期待が高まるなか新興国債券市場が上昇したこと

(下落要因)

- ・2022年9月、英国のトラス政権が大規模な減税策を示したことなどが嫌気され新興国債券市場が下落したこと
- ・2023年2月、米国長期金利の上昇が売り材料視されたほか、米中関係の悪化や原油相場下落を警戒する動きから新興国債券市場への売り圧力が強まったこと

◆投資環境

現地通貨建て新興国債券指数であるJPモルガンGBI-EM Diversified指数（円ベース）の当期における騰落率は、18.8%となりました。

期初来、中国での新型コロナウイルス感染状況の悪化や、欧米での景気悪化懸念などが下押し圧力となりましたが、8月中旬にかけては米国の利上げペース鈍化観測が強まったことで買いが優勢となり上昇しました。その後10月末にかけて英国でトラス政権が打ち出した大規模な減税策と国債増発計画などが債券市場の下押し材料となり下落しました。11月以降は、一時的な米国長期金利の上昇が売り材料視されたほか、米中関係の悪化や軟調な原油相場などは下押し圧力となりましたが、米国のインフレピークアウトを背景に金融引き締め鈍化観測が広がったことで新興国債券への買いが優勢となったことや、中国の厳しい新型コロナウイルス関連対策が撤回され中国景気の回復期待が高まるなか、上昇基調で推移しました。

◆当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは主として新興国の政府・政府機関などの発行する現地通貨建て債券への投資を行いました。

通貨配分

南アフリカランド、ポーランドズロチなどをベンチマーク比高めの配分とした一方、香港ドル、台湾ドルなどをベンチマーク比低めの配分としました。

国別配分

南アフリカ、ブラジルなどをベンチマーク比高めの配分とした一方、ポーランド、マレーシアなどをベンチマーク比低めの配分としました。

◆今後の運用方針

新興国債券市場は、引き続き米国の金融政策、米ドル相場の推移、先進国と新興国間における経済成長の格差などの影響を受けるとみられます。リスク要因としては、グローバル経済の見通しを巡る不透明感の高まり、米国金融セクターの不安拡大などが挙げられます。一方、主なプラス要因としては、中国の経済再開に伴う成長期待や需要の回復が挙げられ、コモディティ輸出国やアジア諸国などを中心に恩恵を享受すると予想します。加えて、新興国の経済成長見通しが先進国対比で良好なこと、相対的に利回りが高いため資金流入が期待できることなども支援材料です。運用においては、引き続き、インフレ動向、世界的な金融引き締め動き、経済減速、地政学リスク、加えて新興国各国の財政状況などを注視しつつ、良好なファンダメンタルズを有し魅力的で投資価値のあるバランスのとれたポジション構築を目指してまいります。

■ 1万口当たりの費用明細

(2022年5月18日～2023年5月17日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他費用	円 37	% 0.279	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 期中の平均基準価額は、13,340円です。
（保管費用）	(36)	(0.268)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（その他）	(1)	(0.010)	金融商品取引に要する諸費用
合計	37	0.279	

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入してあります。

■売買及び取引の状況
公社債

(2022年5月18日～2023年5月17日)

		買付額	売付額
外	メキシコ	千メキシコペソ 27,358	千メキシコペソ 45,716
	ブラジル	千ブラジルレアル 3,937	千ブラジルレアル 1,186 (5,900)
	チリ	千チリペソ -	千チリペソ 1,601,585
	ペルー	千ペルーソル 3,696	千ペルーソル 838
	トルコ	千トルコリラ -	千トルコリラ 625
	チェコ	千チェココルナ -	千チェココルナ 9,139
	ハンガリー	千ハンガリーフォリント 523,079	千ハンガリーフォリント 182,090
	ポーランド	千ポーランドズロチ 2,260	千ポーランドズロチ -
	ロシア	千ロシアルーブル -	千ロシアルーブル 90,125
	ルーマニア	千ルーマニアレイ 8,408	千ルーマニアレイ -
	マレーシア	千マレーシアリングギット 1,072	千マレーシアリングギット 204
	韓国	千韓国ウォン 550,527	千韓国ウォン 568,639
	南アフリカ	千南アフリカランド 11,646	千南アフリカランド -
	中国オフショア	千オフショア人民元 -	千オフショア人民元 16,126

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

先渡取引状況

種 類	当 期
	取 引 契 約 金 額
直物為替先渡取引	11,106百万円

■ 利害関係人との取引状況等

(2022年5月18日～2023年5月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(2023年5月17日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 53,901	千メキシコペソ 49,885	千円 389,335	% 12.0	% —	% 8.9	% 0.5	% 2.6
ブラジル	千ブラジルレアル 16,650	千ブラジルレアル 16,507	455,823	14.1	14.1	6.7	1.7	5.7
コロンビア	千コロンビアペソ 8,244,000	千コロンビアペソ 6,433,624	193,915	6.0	—	0.4	5.1	0.6
ペルー	千ペルーソール 5,625	千ペルーソール 5,182	191,336	5.9	—	4.8	—	1.1
ウルグアイ	千ウルグアイペソ 3,600	千ウルグアイペソ 3,380	11,841	0.4	—	—	0.4	—
チェコ	千チェココルナ 34,850	千チェココルナ 26,814	168,185	5.2	—	5.2	—	—
ハンガリー	千ハンガリーフォリント 997,960	千ハンガリーフォリント 745,145	300,036	9.3	—	4.8	4.5	—
ポーランド	千ポーランドズロチ 3,717	千ポーランドズロチ 2,674	88,189	2.7	—	2.7	—	—
ロシア	千ロシアルーブル 48,566	千ロシアルーブル 2,913	4,953	0.2	0.2	—	0.2	—
ルーマニア	千ルーマニアレイ 11,400	千ルーマニアレイ 10,891	326,504	10.1	—	2.7	7.2	0.2
マレーシア	千マレーシアリンギット 5,111	千マレーシアリンギット 5,627	170,073	5.3	5.3	5.3	—	—
南アフリカ	千南アフリカランド 76,758	千南アフリカランド 61,436	439,271	13.6	13.6	13.6	—	—
中国オフショア	千オフショア人民元 14,900	千オフショア人民元 15,517	302,776	9.4	9.4	9.4	—	—
合 計	—	—	3,042,244	94.1	42.6	64.3	19.5	10.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) ー印は組み入れなし。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) BB格以下については、格付けの取得できないものを含まず。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末					
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
国債証券	10% MEXICAN BONOS 12/24	10.0	1,731	1,714	13,381	2024/12/5
	5% MEXICAN BONOS 03/25	5.0	10,000	9,147	71,394	2025/3/6
	7.5% MEXICAN BONOS 06/27	7.5	2,370	2,254	17,598	2027/6/3
	7.75%UNITED MEXICAN11/42	7.75	22,300	19,798	154,518	2042/11/13
	8.5% MBONO 05/29	8.5	2,500	2,472	19,298	2029/5/31
	8.5%MEXICAN BONO11/38	8.5	15,000	14,497	113,144	2038/11/18
小 計					389,335	
ブラジル			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
国債証券	10% BRAZIL NTN-F 01/25	10.0	6,650	6,723	185,670	2025/1/1
	10% FEDERATIVE REP 01/27	10.0	1,950	1,950	53,851	2027/1/1
	10% FEDERATIVE REP 01/29	10.0	7,000	6,827	188,530	2029/1/1
	10% FEDERATIVE REP 01/31	10.0	1,050	1,005	27,771	2031/1/1
小 計					455,823	
コロンビア			千コロンビアペソ	千コロンビアペソ		
国債証券	6% COLOMBIA TES 04/28	6.0	1,310,000	1,085,055	32,704	2028/4/28
	7.25% COLOMBIA TES 10/50	7.25	614,000	404,830	12,201	2050/10/26
普通社債券 (含む投資法人債券)	7.625% EMPRESAS PUB 9/24	7.625	645,000	591,013	17,813	2024/9/10
	8.375% EMPRESAS PUB11/27	8.375	5,675,000	4,352,725	131,195	2027/11/8
小 計					193,915	
ペルー			千ペルーソール	千ペルーソール		
国債証券	5.4% REP OF PERU 08/34	5.4	2,500	2,150	79,388	2034/8/12
	5.7%REPUBLIC OF PERU8/24	5.7	975	967	35,730	2024/8/12
	6.9% PERU B SOBERAN 8/37	6.9	2,150	2,064	76,216	2037/8/12
小 計					191,336	
ウルグアイ			千ウルグアイペソ	千ウルグアイペソ		
国債証券	8.5% URUGUAY 3/28	8.5	3,600	3,380	11,841	2028/3/15
小 計					11,841	
チェコ			千チェココルナ	千チェココルナ		
国債証券	1.5% CZECH REPUBLIC 4/40	1.5	18,400	11,972	75,092	2040/4/24
	2.5% CZECH REPUBLIC 8/28	2.5	6,700	6,040	37,889	2028/8/25
	2.75% CZECH REPUBLIC7/29	2.75	9,750	8,801	55,204	2029/7/23
小 計					168,185	
ハンガリー			千ハンガリーフォリント	千ハンガリーフォリント		
国債証券	2.25% HUNGARY GOVT 04/33	2.25	80,000	51,876	20,888	2033/4/20
	3% HUNGARY GOVT 08/30	3.0	288,570	216,638	87,230	2030/8/21
	3% HUNGARY GOVT 10/27	3.0	188,000	148,520	59,802	2027/10/27
	3% HUNGARY GOVT 10/38	3.0	187,390	112,986	45,494	2038/10/27
	4.5% HUNGARY GOVT 03/28	4.5	254,000	215,124	86,621	2028/3/23
小 計					300,036	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
国債証券	1.75% POLANDGOVTBOND4/32	1.75	3,717	2,674	88,189	2032/4/25
小 計					88,189	
ロシア			千ロシアルーブル	千ロシアルーブル		
国債証券	8.15% RUSSIA GOVT 2/27	-	48,566	2,913	4,953	2027/2/3
小 計					4,953	
ルーマニア			千ルーマニアレイ	千ルーマニアレイ		
国債証券	4.75% ROMANIA GOVT 02/25	4.75	275	267	8,029	2025/2/24
	5% ROMANIA GOVT 02/29	5.0	3,125	2,865	85,897	2029/2/12
	5.8% ROMANIA GOVT 07/27	5.8	8,000	7,758	232,576	2027/7/26
小 計					326,504	

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
マレーシア			%	千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット	千円	
	国債証券	3.828% MALAYSIA GOVT7/34	3.828	1,055	1,053	31,849	2034/7/5
		4.893% MALAYSIA GOV 6/38	4.893	2,700	3,022	91,355	2038/6/8
		4.921% MALAYSIA 07/48	4.921	1,356	1,550	46,869	2048/7/6
小 計						170,073	
南アフリカ				千南アフリカランド	千南アフリカランド		
	国債証券	7% REP SOUTH AFRICA 2/31	7.0	33,300	26,147	186,952	2031/2/28
		8% REP SOUTH AFRICA 1/30	8.0	20,608	17,934	128,230	2030/1/31
		8.75% REP SOUTH AFR 2/48	8.75	7,100	5,138	36,741	2048/2/28
		8.875% REP SOUTH AF02/35	8.875	3,600	2,913	20,828	2035/2/28
		9% REP SOUTH AFRICA 1/40	9.0	12,150	9,303	66,518	2040/1/31
小 計						439,271	
中国オフショア				千オフショア人民元	千オフショア人民元		
	国債証券	3.29%CHINA GOVT BOND5/29	3.29	14,900	15,517	302,776	2029/5/23
小 計						302,776	
合 計						3,042,244	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

先渡取引残高

種 類	取 引 契 約 残 高
	当 期 末 想 定 元 本 額
直物為替先渡取引	1,251百万円

■投資信託財産の構成

(2023年5月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,042,244	91.3
コール・ローン等、その他	288,678	8.7
投資信託財産総額	3,330,922	100.0

(注) 金額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建て純資産(3,241,953千円)の投資信託財産総額(3,330,922千円)に対する比率は97.3%です。

(注) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1オフショア人民元=19.5115円、1ドル=136.49円、1アルゼンチンペソ=0.5904円、1メキシコペソ=7.8046円、1ブラジルレアル=27.6138円、100コロンビアペソ=3.0141円、1ペルーソル=36.9226円、1ウルグアイペソ=3.5032円、1ユーロ=148.35円、1トルコリラ=6.917円、1チェココルナ=6.2722円、100ハンガリーフォリント=40.2655円、1ポーランドズロチ=32.9688円、1ロシアルーブル=1.70円、1ルーマニアレイ=29.9788円、1マレーシアリングギット=30.222円、1タイバーツ=3.99円、100韓国ウォン=10.18円、1南アフリカランド=7.15円。

■特定資産の価格等の調査について

調査を行った者の氏名又は名称

PwCあらた有限責任監査法人

調査の結果及び方法の概要

調査依頼を行った取引は当ファンドにおいて行った2022年5月18日から2023年5月17日までの間でノンデリバラブルフォワード（以下「NDF」という。）取引209件でした。

これらのNDF取引について、「投資信託及び投資法人に関する法律（昭和26年法律第198号）」第11条第2項に基づいて比較可能な価格のほか、相手方の名称、銘柄、約定数値、金融商品又は金融指標の種類、プット又はコールの別、権利行使価格、権利行使期間、取引期間その他の当該NDF取引の内容に関して、PwCあらた有限責任監査法人に調査を委託し、日本公認会計士協会が公表した専門業務実務指針4460「投資信託及び投資法人における特定資産の価格等の調査に係る合意された手続業務に関する実務指針」に基づく調査結果として合意された手続実施結果報告書を入手しています。

なお、本調査は財務諸表監査の一部ではなく、また価格の妥当性や内部管理体制について保証を提供するものではありません。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年5月17日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	6,640,887,866	
コール・ローン等	158,513,805	
公社債(評価額)	3,042,244,307	
未収入金	3,375,782,083	
未収利息	58,289,644	
前払費用	6,058,027	
(B) 負債	3,408,640,791	
未払金	3,373,091,848	
未払解約金	35,548,452	
その他未払費用	491	
(C) 純資産総額(A-B)	3,232,247,075	
元本	2,162,270,830	
次期繰越損益金	1,069,976,245	
(D) 受益権総口数	2,162,270,830口	
1万口当たり基準価額(C/D)	14,948円	

(注) 当親ファンドの期首元本額は2,648,028,941円、期中追加設定元本額は39,075,334円、期中一部解約元本額は524,833,445円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、メロン世界新興国ソブリン・ファンド2,069,913,240円、メロン世界新興国ソブリン・ファンド(年1回決算型)92,357,590円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.4948円です。

■損益の状況 (2022年5月18日～2023年5月17日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	214,111,754	
受取利息	213,926,218	
その他収益金	185,536	
(B) 有価証券売買損益	488,652,975	
売買益	1,102,359,593	
売買損	△ 613,706,618	
(C) 先物取引等取引損益	19,705,515	
取引益	149,899,822	
取引損	△ 130,194,307	
(D) 保管費用等	△ 8,908,551	
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	713,561,693	
(F) 前期繰越損益金	520,616,946	
(G) 追加信託差損益金	12,723,032	
(H) 解約差損益金	△ 176,925,426	
(I) 計(E+F+G+H)	1,069,976,245	
次期繰越損益金(I)	1,069,976,245	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。